

泉大津市

# 教育大綱

平成28年5月

## 策定の趣旨

---

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定により、市長は、各市の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を策定することとされています。

これは、近年の教育行政においては、福祉や地域振興などの一般行政との密接な連携が必要となっていることから、市長に大綱の策定を義務付けることにより、地方教育行政への地域住民の意向のより一層の反映と、市における教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図ることを目的としています。

本市は、すべての世代がつながり、地域でともに学び、育ちあう事が大切であると考え、将来における本市のあるべき姿と進むべき方向を示す基本的な指針である「第4次泉大津市総合計画」（平成26年度策定。計画期間：平成27～36年度）においても、教育に関する主なめざす姿として「つながりある学びと育ちを大切にすまち」、「すべての世代が学びあい育ちあえるまち」などを掲げています。

これを実現するためには、子どもと大人、学校園と地域が連携し、その中に団体、ボランティア、企業が参加することにより、市全体を網羅する豊かなつながりの中で、楽しく学び合う仕組みづくりが必要であることから、学校教育の充実と併せて、公民館や体育館等の公共施設における学習機会の提供をはじめとする社会教育の充実にも力を入れています。

また、昨今の市民の多様なニーズに応え、地域コミュニティのさらなる充実を図るためには、市民がその生涯を通じて学んだことを地域で生かし、地域と二人三脚で成長する「学びの循環」を確立することが必要であり、これは本市の生涯学習のめざす姿となっています。

教育委員会では、既にこれらの方向性を踏まえた「泉大津市教育振興基本計画」（以下「教育振興基本計画」という。）を平成28年3月に策定し、これに基づいて教育施策を進めていますが、この度、以下に示す教育振興基本計画の「基本理念」及び「基本方針」をもって「泉大津市教育大綱」と定め、教育委員会と考え方を共有し、教育振興基本計画との整合性、連動性を保ちながら、本市における教育、学術及び文化の振興を図っていきます。

[対象期間] 平成28年度から平成31年度までの4年間

## 基本理念

### ～つながりからはじまる学びの環わ～

子どもから子ども、子どもから大人へ、大人から大人、大人から子どもへと、それぞれが関わり合いながら、様々な機会を通して楽しく学び合える環境を整えば、互いを尊重し、助け合い、さらに自分自身を磨いていくことにつながります。

また、子ども、家庭、地域、そして学校が「楽しく学ぶつながり」を創り出すことは、子どもたちが夢をもって自ら成長できる力につながります。

こうした“学びの環（わ）”を、教育がしっかりとつなげ、広げていくまちづくりを進めます。このような考えに基づいて「つながりからはじまる学びの環（わ）」という基本理念を定めます。

こうした基本理念のもと、3つの基本方針を定め施策を展開していきます。この基本方針は、国の教育振興基本計画の前文に位置づけられた、「我が国に求められているものは『自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学び』である」との考えを踏まえたものです。



## 基本方針

---

### ✚「きょういく」できる環境をつくる

「きょういく」は“共育”と“協育”を兼ねた言葉です。

子どもたちは、自ら学び・考え、主体的に判断し、行動し、問題を解決できる力を身につけていく必要があります。その際、一人で学ぶのではなく、集団生活や地域社会、家庭での生活を通して学び、成長していきます。様々な場面で子どもと関わる人がともに育つ“共育”、また、市民としての自覚を持ち、自らが主体となって地域社会を協働して支えていく“協育”できる環境をつくります。

### ✚「じりつ」できる人を育てる

「じりつ」は“自立”と“自律”を兼ねた言葉です。

経済面での活力向上、自然災害や身近な生活に潜むリスクへの対応、グローバル社会の進展など、生きる上で自らの選択が求められるなか、すべての市民が、自ら課題探求に取り組み、判断し、行動するなどそれぞれの場面で主体的に行動する“自立”。また、ともに社会を構成する様々な主体（市民・地域団体・NPO・企業・行政など）がそれぞれ最適と考える取組みを相互に連携しながら、まちづくりの課題に取り組み、持続的な社会をつくる“自律”できる人を育てます。

### ✚「そうぞう」できる力を高める

「そうぞう」は“想像”と“創造”を兼ねた言葉です。

本市の文化財、地域行事や伝統を学びに生かし、自分たちが住む「ふるさと泉大津」を想い、自らの成長と発展をめざし、夢や希望をもって自由に発想する“想像”。また、豊かな歴史的・文化的資源を生かした学びを創り出し、生涯にわたって学びや楽しみを共有する地域学習社会を“創造”できる力を高めます。

## 「つながりからはじまる学びの環」への想い

かつて私は、「今日よりも明日を心豊かにする、誰もが住みつづけた  
いまち」を築き上げるために、地域コミュニティの再構築を進め「心が  
かようまちづくり」に努めてまいりたいと市民の皆様にお示しし、現在  
もこの考えを常に根底に持ちながら、市政に取り組んでおります。

人と人との関係性が希薄になったといわれる現代の社会ですが、地域  
コミュニティの活性化や再構築は、多くの社会的な課題を解決する糸口  
となるものと考えています。

わけても教育施策に関しては、豊かな心と確かな学力・健やかな体を  
育む学校教育、地域コミュニティの活性化を図る生涯学習の充実を進め  
ておりますが、これをもって、泉大津市の子ども達の成長を支えていく  
ためには、家庭、学校、地域、行政が一体となることが期待されます。

つながりから始まる学び、つまり、子ども自身が、多くの人、地域や  
学校などと「つながる」ことが、「学ぶ」ことの第一歩となるのではない  
でしょうか。

「第4次泉大津市総合計画」、「泉大津市教育振興基本計画」などに  
おいても、いずれもこの「つながり」を重要視しており、本市の教育大  
綱としてもふさわしい言葉として、基本理念に掲げるものです。

本市のすべての子ども達が、この理念のもと、健やかに成長すること  
を願うとともに、その実現に向け取り組んでまいります。

**泉大津市長 伊藤晴彦**

---

泉大津市教育大綱

---

発行日 平成28年5月

発行 泉大津市

編集 総合政策部企画調整課

教育委員会事務局

〒595-8686 泉大津市東雲町9番12号

電話 0725-33-1131(代表)